

## 受験対象者と現職空自パイロット要員の意見交換会

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1陸尉）は、5月2日（水）、現職の航空自衛隊パイロット要員と防大航空要及び航空学生の受験を検討している対象者との意見交換会を設けた。

これは、神奈川地本から平成29年度的一般幹部候補生航空飛行要員に合格し、一般幹部候補生課程（奈良）を卒業後、現在第12飛行教育団（防府北）の飛行準備課程に入校中の滝口3等空尉がゴールデンウィークを利用して帰郷した際に、対象者たちと懇談し意見交換を行ったものである。

当日は、将来自衛隊のパイロットを考えている4名の受験対象者がこの声掛けに対し、積極的に参加してきた。対象者からは、「パイロットになるには、防大と航空学生のどちらが良いか」「受験準備や英語力の身に着け方は」など、期待や不安を交錯させながらも、現時点での素直な気持ちを投げ掛けるとともに、「飛行準備課程の内容や戦闘機の性能は」など、より詳しい内容の質問が飛び交うなど終始盛り上がりを見せていた。最後に、親身に話してくれた滝口3尉に対し、「来年の春に入校できるよう勉強を頑張ります」と元氣よく答えてくれた。対象者たちと意見交換をした滝口3尉は、「後輩のために貢献できて良かった」と満足そうに話してくれた。

上大岡募集案内所は、「今後もあらゆる職種の若い現職自衛官に声掛けをし、連携しながら募集対象者を受験に導いて行くとともに、色々な施策に取り組み受験率向上に努めていきたい」としている。



滝口3尉（右奥）に質問する対象者

## 高校生に自衛官の魅力をアピール

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻1陸尉）は、5月16日（水）、神奈川県立神奈川総合産業高等学校（相模原市南区）において「職業講話」を実施した。

これは、同校から3年生の進路意識の向上を目的に依頼されたもので、進学や就職を希望する生徒に対し、自衛官の魅力を伝えるべく、初めて実現したもので相模原地域事務所長の新妻1陸尉が講話を実施した。

本講話は、同校の視聴覚室において約1時間を要して、自衛隊の任務や編成、陸・海・空の職種を始め、訓練や生活に関する自衛隊の日常生活等もわかりやすく説明した。

説明終了後の質疑応答では、時間が過ぎるほど活発な質問があり、関心の高さを窺わせた。生徒からは「自衛隊は陸・海・空の中にも更にさまざまな職種があることを知り、仕事に対する理解や関心が深まった」「今まで知らなかった自衛隊の姿を知り、興味を持った」などの声が聞かれ、有意義な講話となった。相模原地域事務所は、「今後も、多くの若者に自衛隊の活動や任務について理解してもらえよう、積極的に募集広報活動に力を注いでいきたい」としている。



終了予定時刻が過ぎても、熱心な生徒からの質問に答える相模原地域事務所長（新妻1陸尉）